

天然記念物

伊勢三珍花

伊勢ナデシコ、伊勢ハナショウブ、伊勢ギクの三種は松阪地方で選別改良、育種されてきたといわれており、三重県の天然記念物に指定されています。どの花も、花びらが長く垂れ下がっているのが特徴的です。松阪市では松阪三珍花と呼ばれています。



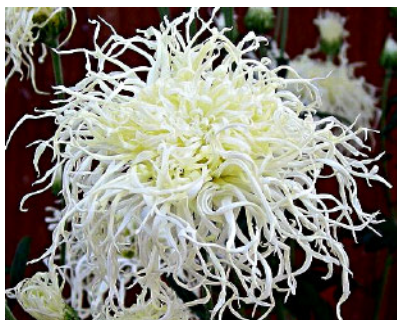
伊勢ナデシコ

由来ははっきりしませんが、中国から渡来したセキチク(カラナデシコ)を19世紀前半頃に伊勢、特に松阪地方で改良したものといわれています。



伊勢ハナショウブ

ハナショウブの栽培が各地で隆盛した江戸末期に、伊勢地方で出た変種を改良したものと考えられます。伊勢ハナショウブは他の江戸・肥後系のものと比べて花弁が薄く、すべて「三英咲き」(英とは花弁のこと)であり、花弁は薄くゆるやかに垂れ下がっているのが特徴です。



伊勢ギク

伊勢ギクは嵯峨ギクから出たと考えられ、江戸時代にはすでに栽培されています。伊勢ギクの中で松阪で保存・栽培されているものは、特に松阪ギクと呼ばれます。